

卒業式式辞

春の息吹が感じられる今日の佳き日、ご来賓ならびに多数の保護者の皆様をお迎えして、ここに令和5年度第56回卒業式および第27回修了式を挙行できますことは、本校教職員ならびに在校生一同の大きな喜びであり、ご臨席の皆様方に対し、心から御礼申し上げます。

本年度の本科卒業生は機械工学科40名、電気情報工学科33名、環境都市工学科40名、建築学科37名、合計150名です。専攻科では、46名が修了し、「学士(工学)」の学位を授与されました。この中には留学生として、ラオスからのドーさんが含まれます。合わせて196名の若者が、本日、この学舎から巣立っていくことになります。

卒業生・修了生の皆さん、ならびに保護者の皆様、ご卒業・修了、おめでとうございます。また、保護者の方々をはじめ、これまで彼らを支え、励まし続けていただいた皆様に対し、お祝いを申し上げますとともに、改めてここに感謝の意を表したいと存じます。

さて、皆さんは中学校卒業後、本校において工学を学ぶ道を選択されました。高専教育は現在高く評価され、国内外から注目されているところですが、皆さんには基礎から応用までたくさんの学ぶべきことがあり、勉強が大変だと思ふこともあったのではないかと思います。また、スポーツ、音楽、芸術、ロボコンなどのコンクール、学生会など、いろいろな所で頑張ったり、楽しんだり、あるいはつらい思いをしたり、様々な経験をしてここまでこられたと思います。

そして今日、皆さんは、これまでの努力や積み上げた実績の成果として、卒業証書・修了証書を手にされました。これは呉高専での学生時代に、皆さんが頑張った証です。皆さんにはこれまでの努力に対して、自信と誇りを持って頂きたいと思います。私も校長として、ここまで来た皆さんのことを誇りに思います。

さて、今年は正月から能登地方を中心に大きな地震がありました。多くの方が犠牲になり、今も沢山の方が苦しんでおられます。犠牲になられた方々には謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。一方、世界を見ればロシアによるウクライナ侵攻、イスラエルとハマスの戦火など悲惨な状況が続く中で、世界は混迷の度を深めています。そして、気候変動、食料危機、エネルギー問題などのこれまでの課題も深刻さを増しています。日本は、この不透明な世界情勢の中で、少子高齢化、労働者人口の減少にも直面し、さらに多発する自然災害の深刻な状況下に置かれています。

私は、これまでの30年間の日本を見て、明らかに企業も個人も内向きになってきていると感じます。国力も徐々に低下し、最近では世界の技術者が集う学会の場などに参加しても、日本の存

在感を示す日本人が少なくなっていることに、かなりの危機感を持っています。これからの日本を考えると、世界の中での立ち位置をしっかりと見据え、技術立国として皆が幸せに暮らしていける国を維持していかなければなりません。

私はこのようなときこそ、この呉高専で学んだ皆さんの力が必要とされていると思っています。今日巣立つ皆さんには、思う存分に力を発揮し、今の社会に活力を与えてくれることを期待します。皆さんは高専でそれぞれ違う経験をしていますので、できること、すべきことは人によって違うと思います。それぞれが皆違うということ、一人一人が他の人とは違う重要な存在だということ強く意識して頂き、それぞれが志を高く持って、できること、すべきことをしてほしいと思っています。そして、そのとき本校の合言葉である、「Realize Your Dream!」を忘れないでいてほしいと思います。いま、皆さんは高専での学びを終えた、一人前の存在です。これからは皆さん自身が主役となり「夢の実現」を考えてほしいと願います。

皆さんには今後夢の実現を考えると、あるいは仕事や生活の中でも、いろいろな挑戦の機会があると思います。そのときは、まずそこに関わる人を理解し、その上で事の本質を見極めて下さい。何かに挑戦するとき、周りの人の理解や協力は不可欠です。皆さんがそうであるように、周りの人たちもそれぞれの経験や環境に基づき、一人一人違う考えを持っています。そんな中で、ただ自分の考えを人に押し付けるだけではうまくいきません。何かやろうと思うときには、そこに関わる人達をしっかりと理解することを心掛けてほしいと願います。特に皆さんは技術者として世界中の人たちと関わる機会が多いはずで、人は、それぞれの経験、文化、宗教、歴史的な経緯も含めて、誰もがそれぞれに違う背景や理屈で動いていることをしっかりと理解し尊重する態度が重要です。その上で大局を見て、自分がやることに対して不利益を被る人がおらず、そして喜ぶ人がいると確信できることが重要だと思っています。くじけそうになったときにも、人が喜ぶ顔を想像すれば、きっと力が湧いてくると思います。これは、これから羽ばたいていく皆さんへの、是非とも覚えておいてほしい、私からのメッセージです。

最後に、呉高専は来年度に創立 60 周年を迎えます。呉高専は長い歴史を持つ伝統ある学校であり、皆さんには社会で活躍している多くの先輩がいて、今ともに巣立つ仲間がいて、さらに後輩がこれに続き、将来も助け合うことができます。皆さんには呉高専の卒業生・修了生としての自信と誇りを忘れず、己の可能性を信じ、助け合い、夢の実現に向けて羽ばたいてほしいと思います。皆さんの輝かしい未来を祈念して、式辞といたします。

令和6年3月18日

呉工業高等専門学校長

餘利野直人